

## 令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	社会福祉法人飛騨慈光会 障がい者施設 大野山ゆり園
開催日時	令和7年12月16日(火) 9時30分～11時30分
開催場所	大野山ゆり園 会議室
参加者	<p>利用者代表 2名(男性1名、女性1名)</p> <p>利用者のご家族代表 4名(手をつなぐ育成会)</p> <p>地域の関係者 3名(地区民生委員、町内会長、まちづくり協議会)</p> <p>行政関係者 5名(市役所福祉課、町支所、社会福祉協議会)</p> <p>事業所職員 7名(施設長、施設長補佐、主任支援員2、副主任支援員3)</p>
会議内容	<p>○施設長挨拶</p> <p style="padding-left: 20px;">会議の趣旨と目的の説明</p> <p>○参加者の自己紹介</p> <p>○施設・事業所の紹介</p> <p style="padding-left: 20px;">①施設概要説明②強度行動障害支援とは③利用者の様子、活動紹介(プロジェクター スライドショーにて)④BCPの策定状況と災害対策について</p> <p>○地域との関係性の現状報告</p> <p style="padding-left: 20px;">①地域ニーズの受け入れ状況②地域住民との交流③今後の課題</p> <p>○利用者の権利擁護の取り組み報告</p> <p style="padding-left: 20px;">①権利擁護に関する研修や定期的なeラーニング活用②虐待防止委員会と身体拘束 適正化の取り組み③具体的な事例検討会④日常的な啓蒙活動</p> <p>○施設内見学</p> <p style="padding-left: 20px;">各生活棟、食堂、防災倉庫、作業棟、ホール、通所棟など</p> <p>○意見交換、質疑応答、感想など</p>
意見交換 質疑応答 感想など	<p>・地震や大雨のような有事の際、福祉避難所としての役割や地域との災害拠点提携における受け入れはどのようにしているのでしょうか?</p> <p>⇒(返答)福祉避難所として高山市と情報共有を行っていますが、実際の受け入れ体制は、居室の空きなど課題が残っており、検討を深めている段階です。また、地域との相互協定も位置づけとしてはありますが、実例がないため、災害時の状況を見ながら対応を判断する必要があります。利用者の方が困らないように配慮しながら、今後も備えを進めていきます。</p> <p>・施設内見学を通して、利用者目線に触れた細やかな現場で、大変勉強になりました。利用者さんが安心して暮らせると感じました。</p> <p>・町内会との協定に関しても、合同訓練を実施されるなど、公民館を持たない町内会にとっては大野山ゆりのAEDの共有など、地域密着型のたいへん良い取り組みだと思いました。</p>

意見交換  
質疑応答  
感想など

・市としても福祉避難所や、地域生活支援拠点というところで事業を実施していますが、実際にこの施設がこういった動きをされているのか、たいへんよく理解ができました。

・BCPなどの災害対策を、法人としてしっかりと取り組まれていることが良く分かりました。

・利用者特性に合わせた支援で、混乱を防ぐために情報を制限することや、数多くの対応をされていると感じました。

・作業する場所や、共同スペースで過ごされる場合、利用者に対して支援員の割合は、何名対何名くらいですか？

⇒(返答) 食事支援では、利用者数に応じて各館で4~6名ほどの職員を配置しています。日中は日課や活動内容に合わせて、各館に3~4名を配置し、作業活動やバス添乗、入浴支援にも対応できるようにしています。どの時間帯でも、できるだけ活動が実施でき、利用者さんが安心して過ごせる人員体制を確保するよう努めています。

・大野山ゆり園をこれまでよりも詳しく、見たり聞いたりを通して知ることができました。町内会との防災に関わる連携をしていることも初めて知り、素敵な取り組みだと感じました。

・社会福祉協議会としては、中学校での講話やショートボランティア受け入れの仲介をしていますが、今後も継続していきたいと思うのでよろしくお願いします。他に外部ボランティアの受け入れはしていますか？

⇒(返答) これまで外部ボランティアの受け入れ事例は多くありませんが、お申し出があれば大変ありがたいです。中学生ショートボランティアでは行事のサポートに入っていたいただき、利用者さんも交流する機会が持てとても喜ばれていました。ボランティアに参加された生徒さんから『この仕事を友達にも広めたい』という嬉しい声もいただきました。

人手不足の昨今、若い世代に福祉に興味を持ってもらえる機会としても非常にありがたく、今後も積極的に受け入れていきたいのでよろしくお願いします。

・大野山ゆり園が開園した当初から知っていたが、中に入るのは初めてで、良い経験となりました。

・まちづくり協議会としては、以前は利用者さんが散歩をされる際に、休憩場所として公民館やトイレを利用してもらったり、選挙の投票所にて投票の補助をしたこともありました。地域との関りをもっと作っていただけると、よりこの施設の役割が皆に理解されると思います。

・町内会との防災提携や、祭礼による獅子舞の来園など、そういった繋がりがあるのは良いことだと思いました。

・利用者の権利擁護について、職員が丁寧に考えながら支援していることが分かり、施設が大切な役割を担っていることを改めて感じました。大変な仕事だと思うが、今後もがんばっていただきたいです。

・町内会では人口減少の中で、祭りや獅子舞を今後どう続けていくかが課題になっているが、できる限り継続していきたいと考えています。そのうえで、大野山ゆり園ともこれからもつながりを保っていただきたいです。

<p>意見交換 質疑応答 感想など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設ができてもうすぐ 30 年になりますが、近隣地区や行政の皆さんの支えのおかげで子どもたちが安心して生活できていることに感謝しています。国の方針で施設の存続が問われる中、親として不安もあるが、飛騨慈光会や地域の皆さんの理解と協力のおかげで、子どもたちがここで生活できていることを心強く感じています。</li><li>・我が子は最重度で言葉も出ないが、飛騨慈光会の施設に入所以来、地域や行政の支えの中で生活できていることに感謝しています。子どもたちも高齢化する中で、今回の支援内容の説明を聞き、今まで知らなかったことも多く、改めて細やかな支援をしてもらっていると感じました。</li><li>・この 2 年間、自分の地区の町内会長として防災研修に参加する中で、“自助・共助・公助”の重要性を学び、特に施設では共助が要になると感じていました。地域の方々と一緒に防災研修や体験を行ったことで、つながりがより深まり安心につながっています。有事の際には育成会としても支援したいが、地元の皆さんが一番頼りになる存在であり、連携しただけのことが心強いと感じています。</li><li>・我が子は通所利用で、施設内を見学するのは今回が初めてでした。将来的には入所も検討する必要があるため、そのことも踏まえて見学させてもらいました。</li></ul>
-------------------------------	---